

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回大穂学園コミュニティ・スクール (CS) 推進会議		
開催日時	令和5年(2023年)5月18日 開会18:00 閉会20:00		
開催場所	大穂交流センター		
事務局(担当課)	教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	古谷野 好栄、大塚 貴文、渡邊 伸一、柴田 淳子、五十嵐 京子、須藤 梨沙、井内 博行、諏訪 優子、染谷 強、野澤 洋夫、中島 肇、清水 大、中川 正、大塚 一浩、沖山 暁朗、小林 由二、村上 義孝、菊田 康人、川根 義行、塚本 正人、中島 武夫、小野 泰宏、軍司 絹子 藏持 正則 大穂中学校：富田 竜夫校長 大曾根小学校：勝村 和之校長 前野小学校：村野 守司校長 要小学校：平野 浩之校長 吉沼小学校：大越 茂校長	
	その他	大穂中学校：鈴木教頭、伏谷教務主任 大曾根小学校：浅野教頭、大和田教務主任 前野小学校：飯塚教頭、内田教務主任 要小学校：大谷教頭、柴崎教務主任 吉沼小学校：西村教頭、木澤教務主任	
	事務局	教育局長 吉沼 正美 学び推進課：参事 久松 和則 生涯学習推進課：課長 澤頭 由紀子、社会教育主事 渡邊 亮太 地域連携教育指導員 酒井 和宏 教育総務課：課長 山岡 めぐみ	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0名
非公開の場合はその理由			
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校運営の基本方針について 2 学校の教育活動の紹介 3 熟議「各小中学校の現状から見える児童生徒の成長をどう見守っていくか」 4 その他(推進会議の今後の予定) 		
会議録署名人	柴崎 則史	確定年月日	2023年6月16日
会次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 つくば市CSについて 3 座長・副座長の選出 4 協議「学校運営の基本方針について」 「学校の教育活動の紹介」 5 熟議「各小中学校の現状から見える児童生徒の成長をどう見守っていくか」 6 閉 会 		

<審議内容>

1 開会

- (1) 選任通知書の交付（吉沼局長から代表者へ）
- (2) 教育長の挨拶（吉沼局長代読）
- (3) 自己紹介

2 つくば市 CS について

- (1) 書記の選任（前野小 内田卓先生）
- (2) 行政説明（渡邊亮太社会教育主事）

3 座長・副座長の選出

座長：中島 武夫 委員

副座長：小野 泰宏 委員

4 協議

- (1) 「学校運営の基本方針について」

ア 学園グランドデザイン説明（学園長）

- ・教育大綱 社会力の育成
- ・基礎学力の向上
- ・各校の研究テーマを活かした協働的な学びの実施と ICT の思考ツールとしての可視化
- ・主体的に活躍できる特別活動、ルールメイキング
- ・教員研修の工夫と小中一貫教育の推進

イ 中学校グランドデザイン説明（大穂中学校長）

- ・「本気・本腰そして本物の教育の実現」

ウ 小学校グランドデザイン説明（大曾根小学校長→前野小学校長→要小学校長→吉沼小学校長）

- ・大曾根小学校（教育目標）子供も教師も生き生き輝く学校づくり
- ・前野小学校（教育目標）輝く個性が響き合い 笑顔あふれる前野小
- ・要小学校（教育目標）教えから学びへ、楽しい学校、お互いの良さを認め合う。
- ・吉沼小学校（教育目標）子供の成長をみんなで喜び合える学校づくり

エ 質問 ・質問等特になし

オ 賛同

- ・各校長の説明を受け、基本方針が参加者一同賛同される。本方針で学校運営をしていく。

- (2) 「学校の教育活動の紹介」

ア 各校の取り組みについて

①大穂中学校

- ・学力向上を図る取り組み ・ SNS トラブルを防ぐ取り組み
- ・部活動の大きな変化

②大曾根小学校

- ・学校のキャラクター「クスノキング」の発案、児童の意識向上
- ・教科担任制の充実を図る ギガ端末の活用 ・地域とのつながりの重視

③前野小学校

- ・ブロック担任制の導入（例 4年担任兼3年副担任）

- ・コロナ禍にあっても状況に合わせた行事の推進
- ・地域の産業を生かした教育活動の展開（伝統文化 帚づくり）

④要小学校

- ・つくば市教育大綱に沿った学習活動の推進
- ・清掃活動・縦割り班活動の充実
- ・地域との協力・連携（親子行事や廃品回収等）

⑤吉沼小学校

- ・ICT機器の積極的な活用 オンラインの活用 情報モラル
- ・探究していく学習の推進 ・ つくばスタイル科の充実
- ・課題 持続可能な協力体制

イ 質問

- ・運動会を盛り上げてほしい →盛り上げていくことを期待する（座長）
- ・数値目標の具体化は難しいができればやってほしい。地域を巻き込んでどう支えていくかはメンバー、組織を使っていくことが大切と感じる。

→熟議でまとめていきたい（座長）

5 熟議「各小中学校の現状から見える児童生徒の成長をどう見守っていくか」

(1) CSの「ねらい」や「方向性」についての確認

(2) 小中学校ごとに現状の良い点と課題を付箋に書き、模造紙に貼る。その内容をもとにしてグループごとに熟議を実施

(3) 各グループの発表

ア 吉沼小学校グループ

①良いところ

- ・オープンスペース 縦割り班活動 ・吉沼らしい関わりがいい

②課題

- ・あいさつ ・人間関係づくり ・遊び場が少ない

③今後

- ・毎日半数以上が行っている、児童館との連携
- ・祖父母学級等のボランティア活動 毎日のように活動 継続が課題

イ 要小学校グループ

①良いところ

- ・挨拶ができる 地域とのつながりが深い
- ・他学年とのつながりが良い 環境が良い

②課題

- ・少人数で学力が上がらない マナーが良くない
- ・地域とのかかわりに少々負担感があると感じる保護者もいる。

③今後

- ・学校、地域の双方向からの広報活動の実施
- ・子供の居場所づくり（サードステージ）
- ・先生の手助けになるような地域の活動を展開

ウ 前野小学校グループ

①良いところ

- ・保護者が協力的 ・他学年とのつながりが良い

②課題

- ・世代交流が少ない 地域で何をやっているかが分からない
- ・最後までやり抜く体験をさせたい 本を読む量が少ない

③今後

- ・地域の行事の理解と、児童と協働したイベントの開催
- ・子供たちを知ってもらうための活動 地域との協力

エ 大曽根小学校グループ

①良いところ

- ・子供たちが認められる機会が多い。 ・多種多様の業種が周りにある。

②課題

- ・地域との関わりが少ない。 周辺の道が狭く、安全面に課題がある。
- ・働き方改革に逆行しているところがある。

③今後

- ・くすのき隊の活動の充実 子供を守る110番の家の活用
- ・評議員、PTA等の連携の充実 学習ボランティアの充実

オ 大穂中学校グループ

①良いところ

- ・挨拶ができる。 本気で行動できる。 学校が落ち着いている。

②課題

- ・自転車のルールを守る意識の向上 ・夢、目標を持つ等の意識向上

③今後

- ・体験活動等の充実を図る。

(4) その他

ア 座長より

- ・委員同士の交流が進んだ、ますます大穂学園が発展していけるように活動したい。

イ 今後について

- ・第2回 令和5年9月26日(火) 18:00～
- ・第3回 令和6年1月26日(金) 18:00～

6 閉 会

令和5年度第1回大穂学園コミュニティースクール推進会議

日時：令和5年 5月18日（木）

18:00～20:00

場所：大穂交流センター 研修室

次 第

1 開 会

2 選任通知書交付

3 挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティースクール導入について

5 座長・副座長の選出

6 協 議

(1) 学園・学校運営の基本方針について

(2) 学校の教育活動や地域の活動事例の報告

(3) 熟議「各小中学校の現状から見える子どもの成長をどう見守っていくか」

(4) その他

・コミュニティースクール推進会議の今後の予定について

7 閉 会

令和 5年度 大穂学園コミュニティ・スクール推進会議・協議会

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	備考
1	(1) 児童・生徒の保護者	古谷野 好栄	こやの よしたか	大曾根小学校・R4PTA会長	
2	(1) 児童・生徒の保護者	大塚 貴文	おおつか たかふみ	前野小学校・R4、5PTA会長	
3	(1) 児童・生徒の保護者	渡邊 伸一	わたなべ しんいち	要小学校・R4PTA会長	
4	(1) 児童・生徒の保護者	柴田 淳子	しばた じゅんこ	吉沼小学校・PTA共同代表	
5	(1) 児童・生徒の保護者	五十嵐 京子	いがらし きょうこ	大穂中学校 ・大穂中応援団(PTA等代表)	
6	(1) 児童・生徒の保護者	須藤 梨沙	すとう りさ	吉沼小学校 ・子ども会育成連合会会長	
7	(2) 地域住民	井内 博行	いうち ひろゆき	大曾根小学校・R4学校評議員	
8	(2) 地域住民	諏訪 優子	すわ ゆうこ	大曾根小学校・R4学校評議員	
9	(2) 地域住民	染谷 強	そめや つよし	大曾根小学校・R4学校評議員	
10	(2) 地域住民	野澤 洋夫	のざわ ひろお	大曾根小学校・区長会長	
11	(2) 地域住民	中島 肇	なかじま はじめ	前野小学校 ・R4学校評議員、区長会長	
12	(2) 地域住民	清水 大	しみず まさる	前野小学校 ・R4PTA顧問、R6PTA会長候補	
13	(2) 地域住民	中川 正	なかがわ ただし	前野小学校・区長	
14	(2) 地域住民	大塚 一浩	おおつか かずひろ	前野小学校 ・R4学校評議員、区長	
15	(2) 地域住民	沖山 暁朗	おきやま あけお	要小学校・区長会長	
16	(2) 地域住民	小林 由二	こばやし ゆうじ	要小学校・民生委員	
17	(2) 地域住民	村上 義孝	むらかみ よしたか	要小学校・SSW・つくば市倫理法人会 (相談役)・つくばエデュース	
18	(2) 地域住民	菊田 康人	きくた やすと	要小学校 ・菊田建設、元保護者	
19	(2) 地域住民	川根 義行	かわね よしゆき	吉沼小学校・区長会長	
20	(2) 地域住民	塚本 正人	つかもと まさと	吉沼小学校・主任児童委員	
21	(2) 地域住民	中島 武夫	なかじま たけお	大穂中学校 ・元PTA会長、R4学校評議員	
22	(2) 地域住民	小野 泰宏	おの やすひろ	大穂中学校 ・前くすのき会長、R4学校評議員	
23	(2) 地域住民	軍司 絹子	くんじ きぬこ	大穂中学校・元PTA会長	
24	(3) 各学校長・教職員	勝村 和之	かつむら かずゆき	大曾根小学校・校長	
25	(3) 各学校長・教職員	村野 守司	むらの もりじ	前野小学校・校長	
26	(3) 各学校長・教職員	平野 浩之	ひらの ひろゆき	要小学校・校長	
27	(3) 各学校長・教職員	大越 茂	おおこし しげる	吉沼小学校・校長	
28	(3) 各学校長・教職員	富田 竜夫	とみた たつお	大穂中学校・校長	
29	(4) 学識経験者	藏持 正則	くらもち まさのり	大穂中学校・元校長	
	(5) 関係行政機関の職員				
	(6) 教育委員会が適当と認める者				

別紙 8

澤頭
課長

久松
参事

吉沼
局長

山岡
課長

スクリーン

傍
聴
席



畠田 竜夫 小野 泰宏	藏持 正則 勝村 和之	井内 博行 染谷 強
中島 武夫 五十嵐京子	軍司 絹子 古谷野好栄	諏訪 優子 野澤 洋夫



村野 守司 中島 肇	中川 正
大塚 貴文 清水 大	大塚 一浩

PC
プロジェ
クター



平野 浩之 冲山 暁朗	村上 義孝 大越 茂	塚本 正人 柴田 淳子
渡邊 伸一 小林 由二	菊田 康人 川根 義行	須藤 梨沙



副座長席

座長席

廊下

座長席

副座長席

【要小】

平野 浩之
沖山 暁朗
菊田 康人
小林 由二
村上 義孝
渡邊 伸一

【大穂中】

富田 竜夫
小野 泰宏
五十嵐京子
藏持 正則
軍司 絹子
中島 武夫

【前野小】

村野 守司
大塚 一浩
大塚 貴文
清水 大
中島 肇
中川 正

【吉沼小】

大越 茂
柴田 淳子
須藤 梨沙
川根 義行
塚本 正人

【大曾根小】

勝村 和之
井内 博行
古谷野好栄
諏訪 優子
染谷 強
野澤 洋夫

入
口

傍聴席

山岡課長
吉沼局長
澤頭課長
久松参事

つくば市コミュニティ・スクール推進会議開催要項

(開催)

第1条 教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第47条の5に規定する学校運営協議会の設置及び運営に関する検討を行うため、指定する小中一貫型小学校・中学校（つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則（昭和62年つくば市教育委員会規則第8号）第5条に規定する小中一貫型小学校・中学校及び義務教育学校において、コミュニティ・スクール推進会議（以下「推進会議」という。）を開催する。

(定義)

第2条 この要項において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) コミュニティ・スクール 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に規定する学校運営協議会をいう。
- (2) 学園等 つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則第5条に規定する小中一貫型小学校・中学校及び義務教育学校をいう。

(検討事項)

第3条 推進会議は、次に掲げる事項を検討する。

- (1) コミュニティ・スクールの設置及び運営に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、コミュニティ・スクールの推進に関し必要な事項

(構成)

第4条 推進会議は、学園等ごとに、次に掲げる者のうちから、教育委員会が選任した者30人以内をもって構成する。

- (1) 当該学園等に在籍する児童又は生徒の保護者のうちから、学校長が推薦する者
 - (2) 学園等の所在する地域の住民のうちから、学校長が推薦する者
 - (3) 各学校長並びにその他の教職員
 - (4) 学識経験者
 - (5) 関係行政機関の職員
 - (6) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が適当と認める者
- (開催期間)

第5条 推進会議は、学園等ごとにおおむね1年間開催する。ただし、コミュニティ・スクールを設置したときは、その日の前までとする。

(座長等)

第6条 推進会議に座長及び副座長を置く。

- 2 座長及び副座長は、構成員の互選により定める。
- 3 副座長は、座長に事故があるときは、座長となる。

(庶務)

第7条 推進会議の庶務は、学園等及び教育局生涯学習推進課において処理する。

(補則)

第8条 この要項に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要項は、令和4年5月1日から施行する。

小中一貫型小学校・中学校

大 穂 学 園

つくば市立



大曾根小学校



〒300-3235
つくば市大曾根2917
TEL 029-864-0166
FAX 029-864-8474
E-mail : ozo01@tkb.ed.jp
URL : <http://www.tsukuba.ed.jp/~oozone/>

前野小学校



〒300-3267
つくば市前野1367
TEL 029-864-0168
FAX 029-864-8478
E-mail : mac01@tkb.ed.jp
URL : <http://www.tsukuba.ed.jp/~maeno/>

大穂中学校



〒300-3264
つくば市篠崎475
TEL 029-864-0167
FAX 029-864-8479
E-mail : oho01@tkb.ed.jp
URL : <http://www.tsukuba.ed.jp/~oho/>

要小学校



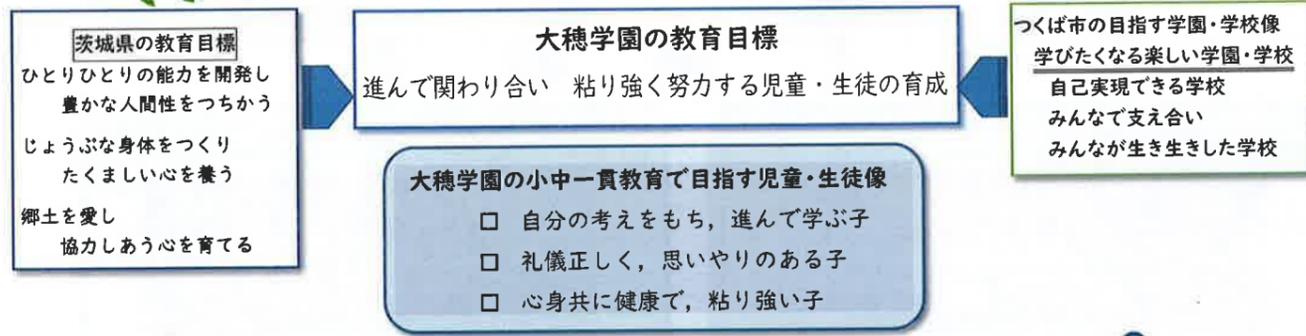
〒300-2622
つくば市要449番地1
TEL 029-864-0449
FAX 029-864-8476
E-mail : kana01@tkb.ed.jp
URL : <http://www.tsukuba.ed.jp/~kaname/>

吉沼小学校

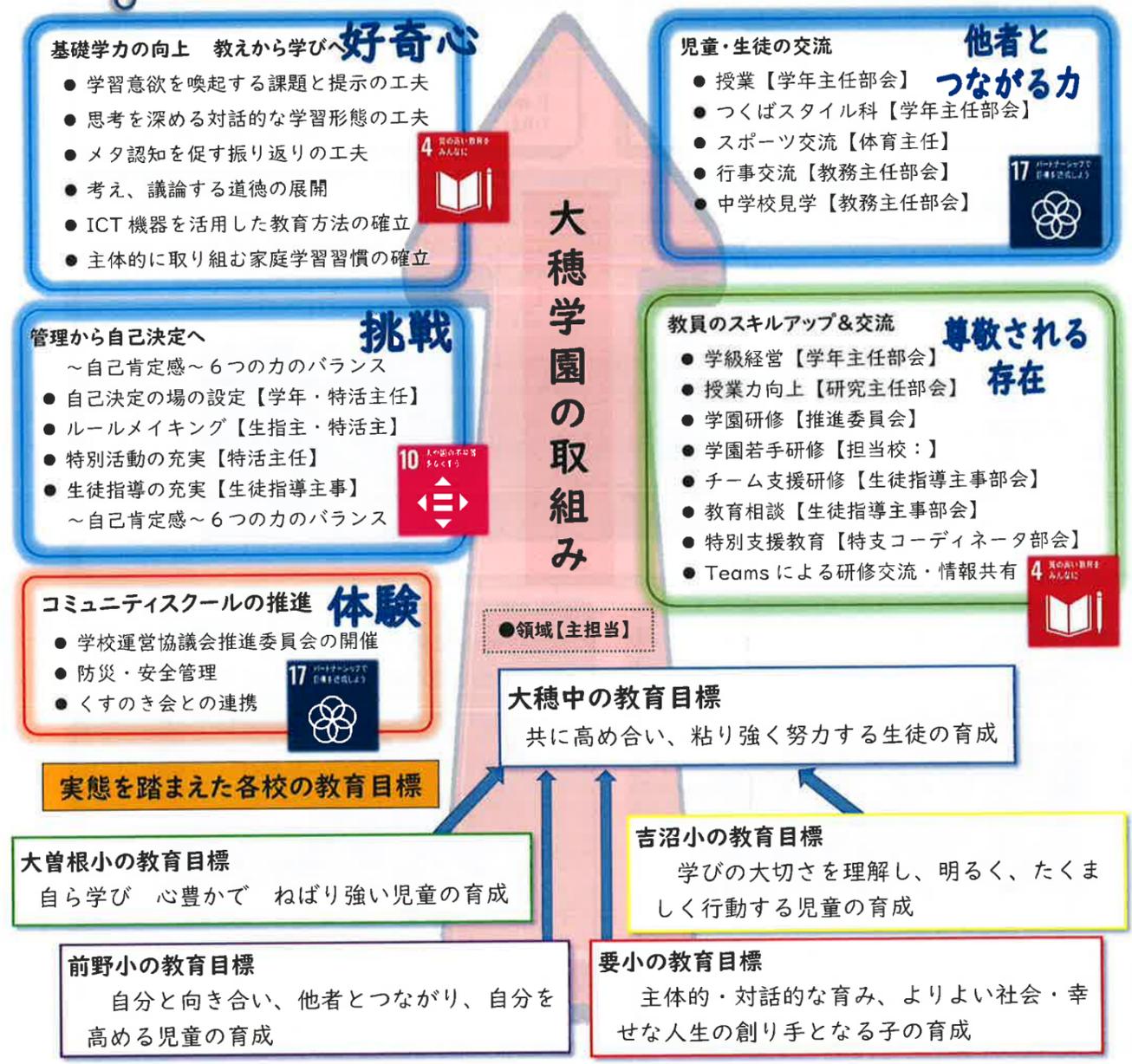


〒300-2617
つくば市吉沼1010
TEL 029-865-0506
FAX 029-865-0783
E-mail : yoshi01@tkb.ed.jp
URL : <http://www.tsukuba.ed.jp/~yoshinuma/>

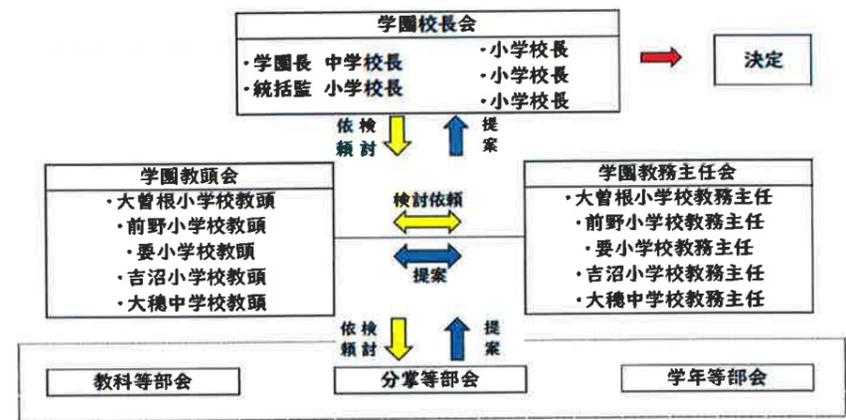
大穂学園 グランドデザイン 2023



教えから学びへ & 管理から自己決定へ



令和5年度 学園組織及び行事予定



年間行事計画

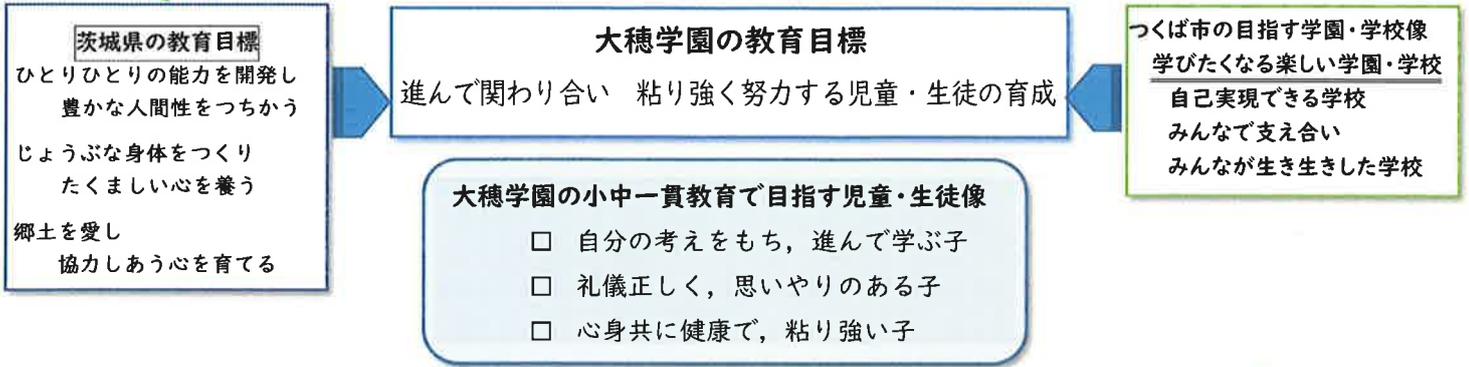
月	学園行事	実施日	調整・連携	実践・運営の主体	主な内容	
4	学園総会	4 / 5 (水)前	校長・教頭	各校教頭		
	各教科部会	4 / 5 (水)前	教頭	各校教務主任		
	各学年部会	4 / 5 (水)前	教務主任	各校教務主任		
	大穂学園入学式	4 / 10 (月)前	校長・教頭	各校教務主任		
	大穂学園啓志式	4 / 10 (月)後	校長・教頭	各校教務主任		
5	生徒指導部会	5 / 10 (水)	教頭	各生徒指導主事	年間行事の確認、生徒指導対応の共通理解	
	合同引き渡し訓練	5 / 12 (金)後	教頭	各校保健主事	学園内一斉の引き渡し訓練	
	第1回CS会議	5 / 18 (木)	校長・教頭	各校教頭	コミュニティスクールに関する会議	
	各学年部会	5 / 22 (月)	教務主任	各学年代表者	年間行事の確認	
	特別支援教育部会	5 / 22 (月)	教頭	特別支援教育担当者	個別の指導計画・支援計画の確認	
6	大曾根小学校運動会	5 / 25 (木)	教務主任	各校体育主任	中学生による運動会ボランティア	
	吉沼小学校運動会	5 / 27 (土)	教務主任	各校体育主任	中学生による運動会ボランティア	
	第1回若手教員部会	6 / 5 (月)	教務主任	各校教務主任	学級経営・生徒指導・コンプライアンス研修	
		/ ()				
		/ ()				
8	地域防災会議	8 / 5 (土)	教頭	くすのき会	災害時の避難所運営	
	中学校体育祭	9 / 9 (土)		中学校体育主任	各小学校6年生の種目参加	
	第2回CS会議	9 / 26 (火)	校長・教頭	各校教頭	コミュニティスクールに関する会議	
	第2回若手教員部会	計画訪問に合わせて	教務主任	各校教務主任	授業参観	
	前野小・要小学校運動会	10 / 14 (土)	教務主任	各校体育主任	中学生による運動会ボランティア	
10	科学フェスティバル	/ ()	教務主任	各校理科主任		
	特別支援学級部会	/ ()	教頭	特別支援教育担当者	特別支援学級進学児童の確認(※Teams)	
	6年スポーツ交流会	/ ()	教務主任	各校体育主任	小学校どりをTeamsでつないだスポーツイベント	
	手をつなぐ子らの作品展	/ ()	特別支援コ	各校の特別支援コーディネーター	児童生徒の作品を展示	
	12	持久走大会	12 / ()	教務主任		
1	第3回若手教員部会	/ ()	教務主任	各校教務主任	研究授業及び研究協議	
	中学校新入生保護者説明会	1 / 19 (金)	教務主任	各校教務主任		
	第3回CS会議	1 / 26 (金)	校長・教頭	各校教頭	コミュニティスクールに関する会議	
	2		/ ()			
	3	小学校6学年授業参観	/ ()	教務主任	各校生徒指導主事	配慮を要する児童の確認
大穂学園継志式		3 / 18 (月)	校長・教頭	各校教務主任		
大穂学園卒業式		3 / 11 (月)	校長・教頭	各校教務主任		
計画訪問時の授業参観		/ ()	教務主任	各校希望者		
随時		各学年代表部会	/ ()	教務主任		
	各教科部会	/ ()	教頭			
	養護教諭部会	/ ()	教頭			



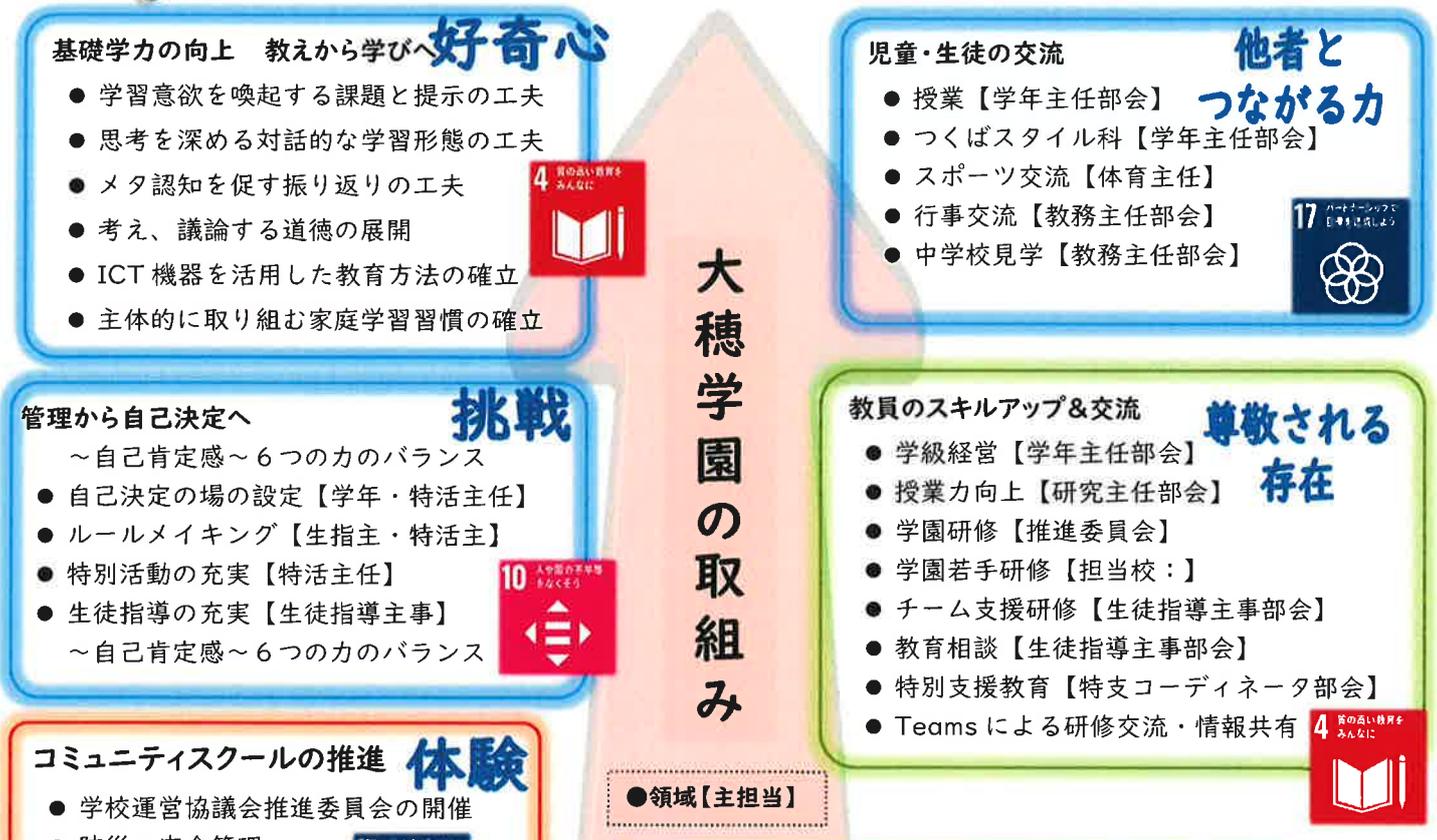
令和5年度 大穂学園

グラウンドデザイン

大穂学園 グランドデザイン 2023

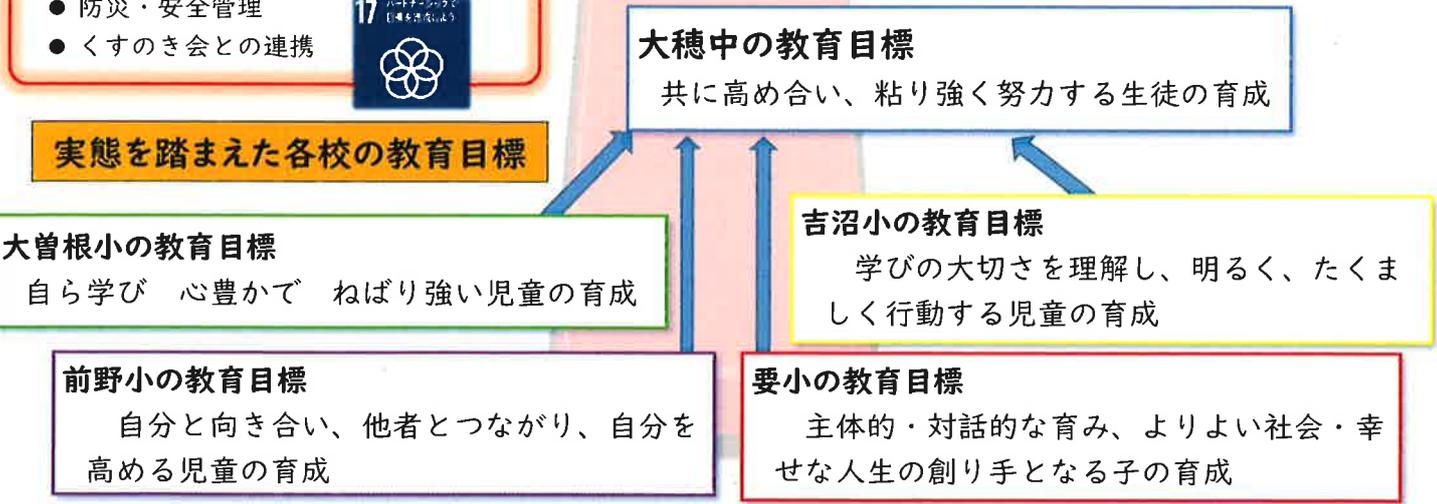


教えから学びへ & 管理から自己決定へ

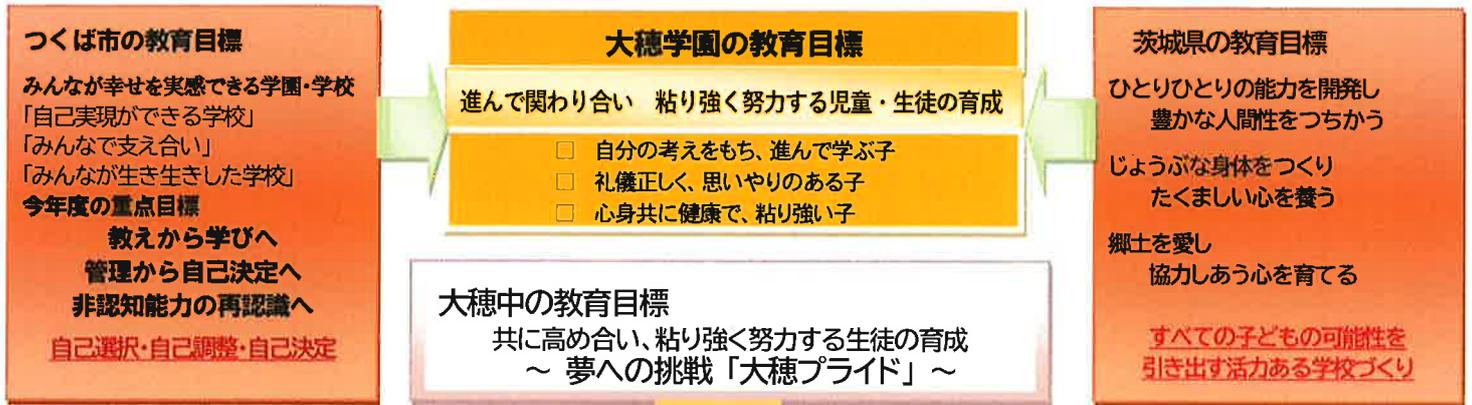


大穂学園の取組み

●領域【主担当】



大穂学園つくば市立大穂中学校 グランドデザイン 2023



本気・本腰そして本物の教育の実現

<確かな学力を育む教育>
 目指す生徒:自分で考え、探究する生徒
◇授業改善の視点
 ・課題提示や導入の工夫 (難易度の工夫)
 ・問いから始める学び、展開の工夫
 ・問い返しや発問の工夫
 ・対話の重視
 ・課題解決型の探究的な学習
 ・各教科の特質に応じた見方・考え方
 ●ICT 機器を活用した協動的な学びの展開
 ・考えを広げ、深める場の設定
 ・多様な指導や学習形態の工夫
 ・考える時間の確保
 ・教科横断的な学びの確立
 ・体験や既習事項の活用
 ・振り返りの工夫 (視点とメタ認知)

4 質の高い授業をみんなに

<豊かな心を育む教育>
 目指す生徒:自己決定できる生徒
◇自己肯定感を高める視点
 ・生徒会活動の充実
 ・校則の見直しやルールメイキング
 ・係活動の充実及び創意工夫
 ・感動する体験活動の実施
 ・特別活動の充実
 ・生徒主体のスポーツ・行事等の実施
 ・ライフスキルトレーニング
 ●コミュニケーション能力の育成
 ・非認知能力を伸ばす環境づくり
 ・道徳的実践意欲
 ・規範意識の高揚
 ・芸術文化活動の充実
 ・学級経営の充実
 ・一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実 (特別支援教育の推進)
 ・学年、学級経営の充実

16 平和の心をもつたくましく生きる人

10 人や物や環境を大切にできる人

<健やかな体を育む教育>
 目指す生徒:活力があり、何事にも挑戦できる生徒
 ・地域の特色を生かした部活動
 ・地域スポーツ人材の活用
 ・体力アップ、体力づくり
 ・部活動改革推進
 ・運動量の確保
 ・昼休みの外遊びの推奨
 ・持久力の向上
 ●特別支援教育の充実
 ・一人ひとりの特性を理解し尊重する
 ・生命 (いのち) の安全教育の推進
 ・交流活動や共同学習の充実
 ・校内支援体制の強化
 ・食に関する指導体制の確立
 ・自己管理能力の育成

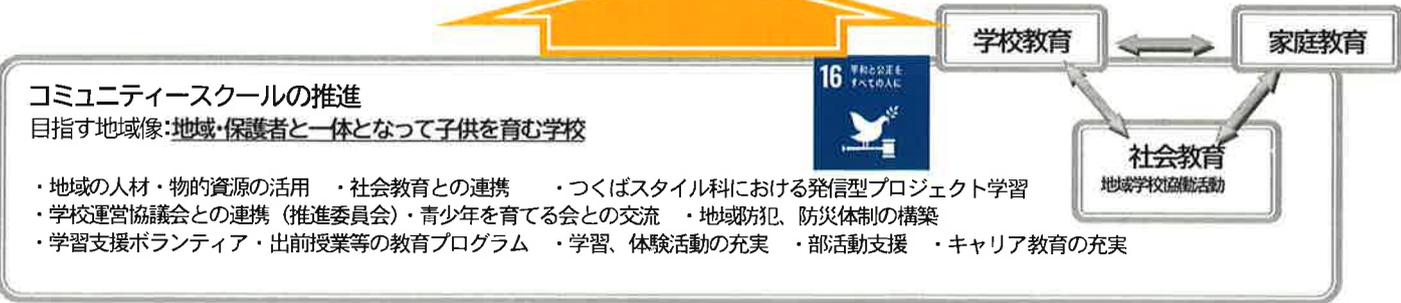
3 心身の健康をみんなに

【教員のスキルアップとパフォーマンス向上のための働き方改革の推進】
 目指す教師像:学びのイノベーションを推進し、質の高い教育の展開を目指す教師
◇指導力・人間力の視点
 ・授業力・生徒理解・生徒指導力 ・デジタル教科書、ICT、ギガ端末の活用 ・校内研修の充実 (ケース会議・不登校対策の充実)
 ・働き方」を意識した教科経営の実施 (教科部会や授業実践) ・コンプライアンスの意識が高く、服務規律を遵守

4 質の高い授業をみんなに

5 心身の健康をみんなに

16 平和の心をもつたくましく生きる人





学園目標 ～進んで関わり合い 粘り強く努力する児童・生徒の育成～

つくば市の目指す学園・学校像

- みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園
- ・自己実現できる学校
- ・みんなで支え合い、みんなが生き生きとした学校
- 夢に向かってよりよい未来をひらく「学び」の実現
- 教えから学びへ学びのイノベーション
 - ・問いから始める学び
 - ・単元を通じた探究的な学び
 - ・体験型・発信型の学び
 - ・個別最適な学び
 - ・協働的な学び
 - ・カリキュラム・マネジメント
- 管理から自己決定へ
- 認知能力から非認知能力の再認識へ
- 保幼小連携
- 特別支援教育の充実
- 地域・保護者と一体となって子供をはぐむ学校づくり
- 教育環境の整備

- 本県教育の目標
- ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちか
 - じょうぶな身体をつくりたくましい心を養
 - 郷土を愛し、協力しあう心育てる

茨城県学校教育指導方針

- すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり
- ◇カリキュラムマネジメントの確立
 - ◇豊かな学びの展開
 - ◇安心して学べる環境の保障

学校教育目標

自ら学び 心豊かで ねばり強い児童の育成

目指す児童像

- 自ら学ぶ子
 - ・意欲的に学習に取り組む子
 - ・基礎基本を身に付け自分の考えを伝える子
- 思いやりのある子
 - ・友達を大切にする子
 - ・助け合い高め合う子
 - ・元気にあいさつする子
- たくましい子
 - ・規則正しく生活できる子
 - ・進んで運動できる子
 - ・最後まであきらめずがんばれる子

教員の資質能力の向上

目指す教師像

- 人間性豊かで、高い使命感をもつ教師
- 一人一人と寄り添った関係を築く教師
- 効果的な学びをデザインし、学びを引き出す教師
- 授業改善に向け、実践的専門性を高める教師
- 組織として協働し、学校教育目標の具現化に努める教師



校長のリーダーシップの発揮

目指す学校像

- 知性と感性の磨かれる学校
- 笑顔あふれる楽しい学校
- 共に学び合う教師集団の学校
- 家庭・地域社会と信頼と協力で結ばれた学校

子供も教師も生き生きと輝く学校

- 一人一人を大切にする教育（思いやり・笑顔）
- 失敗を恐れず、チャレンジする教育（挑戦・創造）
- 学びの共同体として、教師力の向上（協働・実行）
- 働き方改革の推進（効率的な働き方）

経営理念

～「つながり」を大切に～

☆大曾根小学校の教職員としてのPRIDE

組織目標

- 自ら課題をもち、探究、表現、協働的に課題解決する授業づくり
- 他者への信頼感や自己有用感を実感できる学級づくり

研修テーマ

互いのよさを認め、
安心して学び合える学級経営の在り方
～学級集団づくり・授業づくりの充実を通して～

小中一貫教育の充実

- ◎基礎学力の向上
- ◎児童生徒の交流
- ◎教員のスキルアップ
- ◎情報共有
- ◎防災・安全管理

学校評価

- ・子どもの願い
- ・保護者の願い
- ・地域の願い

互いに学び合う集団づくり

探究的・協働的な授業づくり

- ・単元を通じた学習課題の設定
- ・問いから始める学びに向けた課題提示
- ・自力解決の学習時間を確保
- ・対話を生み出す発問の工夫
- ・学びの自覚を目指した振り返り活動

教科担任制の充実 教科の特性を生かす

- ・高学年における教科担任制の実施
- ・技能教科の一部専科制の実施

ICT教育の工夫

- ・学習者用端末のノート化
- ・個別最適な学びへの有効活用
- ・情報モラル教育の実施



笑顔いっぱい友達いっぱい

互いの良さを認め合う学校・学級づくり

- ・「認められる場所と環境」の設定
- ・校内フリースクールの支援体制の整備
- ・挑戦し、失敗が許される学級づくり
- ・一人一人の声を大切にする教師集団
- ・「させる」から「支える」への指導の転換
- ・主体的な委員会・係活動の推進
- ・道徳教育の充実

体験活動を通じた豊かな心の育成

- ・授業や行事での体験活動の工夫
- ・幼児と児童の交流活動
- ・専門家による感動を味わう指導の充実
- ・動物、植物とのふれあいや植栽栽培



のびのび元気な体づくり

体力づくりを目指した体育活動の充実

- ・運動の習慣化を図る授業づくり
- ・学習用端末を活用して、家庭と連携した体力づくりができる学習活動の工夫
- ・安全に運動できる外遊びの工夫

保健・安全教育の徹底

- ・子供目線での安全点検の実施と確実な改善
- ・ヒヤリハットの共有と事例研修
- ・交通安全教室、防災訓練の実施
- ・薬物乱用防止、性に関する指導の実施
- ・大穂学園合同引き渡し訓練の実施



夢への挑戦

社会の変化に対応できる人材の育成

- ・発信型プロジェクト学習の充実（探究する学び、プレゼンテーション）
- ・児童の考えを生かした、校則や約束、ICT機器の使い方を見直し
- ・キャリアパスポートの活用
- ・つくばスタイル科の充実（生活科・道徳科・特別活動）

特別支援教育の充実

- ・全職員で取り組む特別支援教育の充実
- ・交流及び共同学習の充実
- ・定期的な特別支援委員会の実施
- ・ユニバーサルデザインの環境整備



連携・絆づくり

信頼される開かれた学校づくり

- ・学校コンプライアンス体制の確立
- ・学校事故の未然防止（点検・研修）
- ・教育活動の情報発信（HP 毎日更新）
- ・地域人材、施設を活用した多様な学習活動の実施

社会に開かれた教育課程の実現

- ・学校運営協議会と地域協働活動の推進
- ・大穂学園での連携
- ・PTAとの連携
- ・地域各種団体との連携（くすのき会・くすのき隊・区長会など）



つくば市立前野小学校グランドデザイン 2023

自分と向き合い、他者とつながり、自分を高める児童の育成 輝く個性が響き合い 笑顔あふれる前野小学校にしよう

☆ 非認知能力の醸成

- やりぬく体験の保障
- 上手な励まし

☆ 教えから学びへ 分かる授業の展開

- 授業改善（課題へのこだわり・対話へのしかけ・振り返りの工夫）
- GIGA端末活用のレベルアップ
- 読書活動の推進（朝読書からの習慣化）
- 授業見学の機会創出

☆ 管理から自己決定へ 自律的な学級づくり

- 挑戦が称賛される学級経営
- 自分で解決させ、考えさせる授業
- 多様な考えを大切にする特別活動

☆ 働き方改革の推進

- 前小DX
 - ・ Outlook（予定管理・タスク管理）の活用
 - ・ Teams活用による授業と業務の展開
- 時間づくりで自分磨き
 - ・ ベクトルを大きく強くしなやかに
 - ・ 趣味づくり、マイブーム

☆ 服務規律の確保

- 風通しの良い雰囲気づくり
 - ・ 学校と保護者・地域で、Team前野
 - ・ 教職員が、明るく元気な前野Family
- 専門職としての法の理解

「前野小でよかった！」

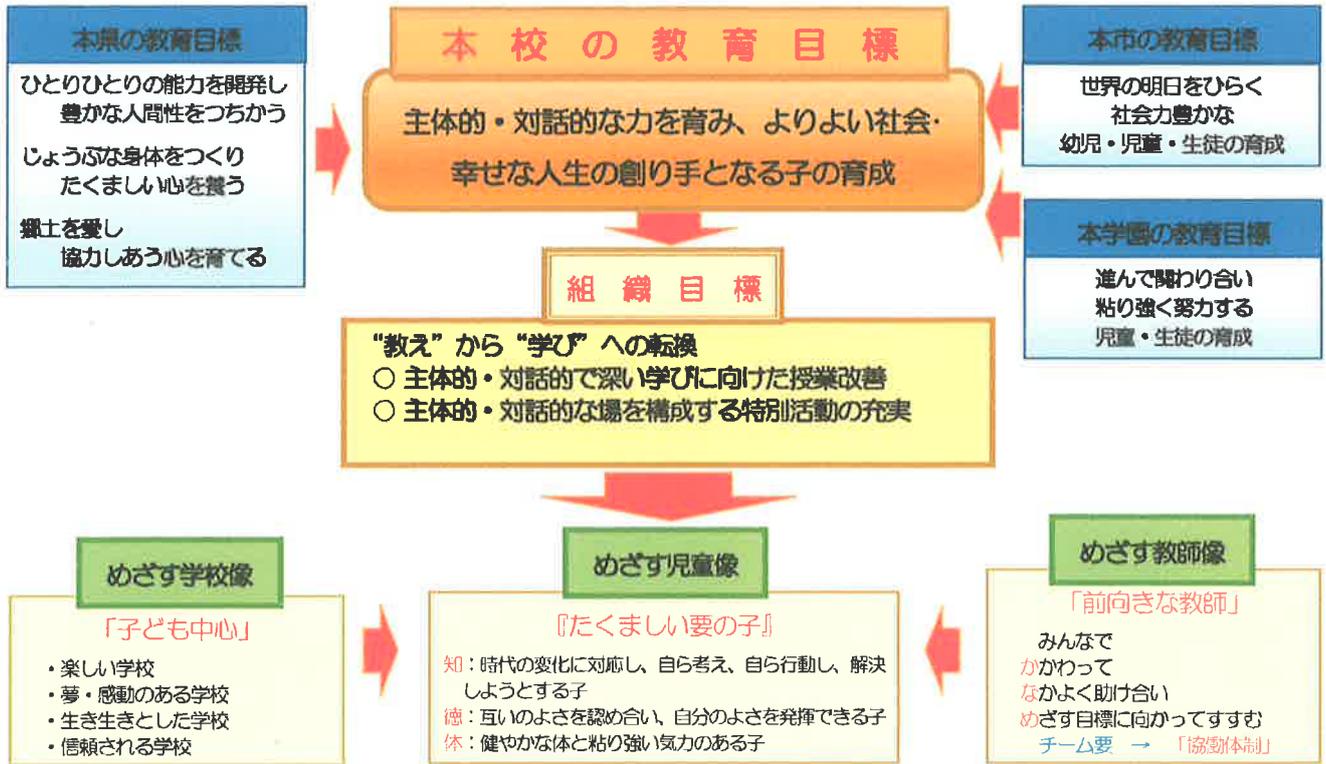
通ってよかった！ 通わせてよかった！ 勤務できてよかった！

= 一人ひとりが温かな気持ちで幸せを実感できる毎日に =

令和5年度 大穂学園つくば市立要小学校 グランドデザイン

一人ひとりが幸せな人生を送るために

4月1日版



組織目標具現化のための具体的施策



令和5年度校内研修テーマ

- 主体的・対話的な場を構成する特別活動の充実（案）

働き方改革の推進

- ・ 職場の環境づくり
- ・ 仕事の計画的推進



令和5年度 大穂学園つくば市立吉沼小学校グランドデザイン

本県教育目標
いばらき教育プラン
茨城県学校教育指導方針
 すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり

- カリキュラム・マネジメントの確立
- 豊かな学びの展開
- 安心して学べる環境の保障

吉沼小学校教育目標
 学びの大切さを理解し、
 明るくたくましく行動する児童の育成
 〈校訓〉 かしこく やさしく たくましく

学校経営の理念
 すべての子どもが安心して学び、成長をみんなで喜び合える学校をつくる

学校の経営方針

- 児童の笑顔、家庭・地域の皆様の笑顔、教職員の笑顔があふれる学校づくりに努める。
- 掌握、紹介、奨励（3S）により、児童の主体性を引き出す授業改善を図る。
- 教員の働き方改革を推進し、児童と向き合う時間と自己研鑽の時間を確保し、持続可能な学校を目指す。
- 家庭・地域と連携し、家庭・地域と一体となって子どもの育成に取り組む。

【合言葉】 自分みがき（児童・教職員ともに）

本市教育目標
 つくば市教育振興基本計画
 夢に向かってよりよい未来をひらく「学び」の実現

- 教えから学びへ
- 管理から自己決定へ
- 認知能力偏重から非認知能力の再認識へ

大穂学園教育目標
 進んで関わり合い、粘り強く努力する児童・生徒の育成

組織目標

○学ぶ必要性や大切さを自覚し、自己判断・自己決定をしながら意欲的に学習に取り組む児童を育てる。
 ○他の人々を大切にすることを考え、望ましい言動を進んで取ることができる児童を育てる。

学びの大切さを自覚し 主体的に学べる子【知】	友と支え合う、思いやりのある子【徳】	心身共に健康で、たくましい子【体】
<ul style="list-style-type: none"> ○児童が「考えてみたい」「友達と話し合ってみよう」と思える学習課題の設定と課題解決の見通しをもたせ方の工夫改善 ○目的を達成したり課題を解決したりするために試行錯誤しながら学ぶ機会の創出 ○言語活動の充実（相手意識・目的意識、根拠や理由） ○各教科等の基礎・基本を定着させるためのデジタル教材の活用 ○地域人材を活用した体験的な学びの充実 <p>【数値目標】 授業中に自己判断・自己決定をしながら意欲的に参加し、教師や友達の話をしっかり聞くことができる児童の割合（学校評価前年度比+1.0）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自己有用感や他尊感情を高める学級づくり（各教科等の授業を中心に） ○一人一人のよさを引き出し、そのよさを具体的に認め褒める教育活動の展開（特別活動を中心に） ○教職員間による模範的な対話の実践 ○児童主体の人権集会の開催 <p>【数値目標】 あいさつ、言葉遣い、時間を守るなど、時と場に応じたふさわしい言動を取ることができる児童の割合（学校評価前年度比+1.0）</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○体育、食育、健康教育の充実 ○体力向上プロジェクトの実施（外遊びの奨励） ○「生命（いのち）の安全教育」の実施 ○がん教育の実施 ○縦割り班活動の充実 ○防災訓練の充実 ○食物アレルギーに対応するための教員研修の充実 <div style="text-align: center;">  </div>

家庭・地域との連携・協働	教職員の資質向上（信頼される学校であるために）
<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価の結果を反映した学校経営 ○各種団体との連携による学校支援体制の充実（防犯協会、交通安全協会、区長会、安全・安心な吉沼を作る会、学校防犯連絡協議会） ○積極的な学校公開 ○学校だより、学級通信、ホームページ等での情報発信 ○地域行事への協力（吉沼祇園祭など） ○大穂学園内各小中学校との連携 ○コミュニティ・スクール導入に向けた準備（推進委員会の実施：年3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修の充実（相互授業参観、ICT活用） ○安全・安心な学校生活実現のための危機管理の徹底 ○教職員の服務規律の徹底（ボトムアップ型のコンプライアンス研修を年6回実施） ○教員評価を活用した勤務意欲の向上（教職員の長所を認め、活きる教員評価面談の充実） ○教職員の働き方改革の推進と学校教育の充実（定時退勤の見える化：月4日、超過在校等時間1か月45h以下：2週間ごとの自己点検）

※教育活動の進捗状況により年度途中での修正の可能性あり

会 議 録

会議の名称		令和5年度第2回大穂学園コミュニティ・スクール推進会議				
開催日時		令和5年(2023年)9月26日 開会 18:00 閉会 20:00				
開催場所		大穂交流センター				
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課				
出席者	委員	古谷野 好栄、大塚 貴文、渡邊 伸一、柴田 淳子、五十嵐 京子、須藤 梨沙、井内 博行、諏訪 優子、染谷 強、野澤 洋夫、中島 肇、中川 正、大塚 一浩、小林 由二、村上 義孝、菊田 康人、塚本 正人、中島 武夫、小野 泰宏、軍司 絹子 蔵持 正則 大穂中学校：富田 竜夫校長 大曾根小学校：勝村 和之校長 前野小学校：村野 守司校長 要小学校：平野 浩之校長 吉沼小学校：大越 茂校長				
	その他	大穂中学校：鈴木 英理 教頭、伏谷 謙 教務主任 大曾根小学校：浅野 洋平 教頭、大和田 哲也 教務主任 前野小学校：飯塚 真由美 教頭、内田 卓 教務主任 要小学校：大谷 順子 教頭、柴崎 則史 教務主任 吉沼小学校：西村 香保子 教頭、木澤 智子 教務主任				
	事務局	教育局長 吉沼 正美 教育局次長 久保田 靖彦 学び推進課：参事 久松 和則 教育総務課：課長 山岡 めぐみ 生涯学習推進課：課長 澤頭 由紀子 ：社会教育主事 渡邊 亮太 ：社会教育主事 村上 和宏 ：地域連携教育指導員 酒井 和宏 ：地域連携教育指導員 小島 健				
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	2名
非公開の場合はその理由						
議題		1 大穂学園の現状について 2 熟議「大穂学園の教育活動において地域から学校に支援できることは何だろうか」 3 その他(推進会議の今後の予定)				
会議録署名人				確定年月日	年 月 日	
会 議 次 第	1 開 会 2 学園長のあいさつ 3 座長・副座長の選出 4 熟議「大穂学園の教育活動において地域から学校に支援できることは何だろうか」 5 閉 会					

<審議内容>

1 開会

(1) 本日の会議について (2) 学園長のあいさつ

2 座長・副座長について

前回より引き続き

座長：大穂中学校元 PTA 会長、前大穂中学校評議員 中島 武夫 委員

副座長：くすのき会前会長、前大穂中学校評議員 小野 泰宏 委員

3 議事の確認

(1) 書記の選任 (要小 柴崎則史教務主任)

4 熟議

(1) 第 1 回の会議内容の振り返り (ファシリテーター 大穂中 鈴木教頭)

○良いところ

- ・縦割り班活動や地域、他学年とのつながりがある。
- ・保護者が協力的 ・子どもたちが認められる機会が多い
- ・多種・多様な業種が周りにある ・挨拶ができる
- ・本気で行動できる ・学校が落ち着いている

○課題として

- ・あいさつ ・人間関係作り ・遊び場が少ない ・学力向上
- ・マナーの向上 ・世代交流が少ない、地域の活動が分からない
- ・地域との関わり ・働き方改革
- ・道が狭く、安全面が課題である
- ・自転車のルールを守る意識の向上を図る必要がある
- ・夢、目標を持つ等の意識の向上

○今後、行っていきたいこと

- ・児童館との連携 ・ボランティア活動 ・継続すること
- ・学校、地域双方からの広報活動
- ・子どもの居場所づくり (サードステージ)
- ・地域行事への理解促進と、児童と協働したイベントの開催
- ・子どもたちを知ってもらうための活動
- ・地域と協力、くすのき隊の活動の充実
- ・ボランティア活動の充実 ・体験活動の充実
- ・先生の手助けになるような地域活動の展開

(2) テーマについての話し合い

「大穂学園の教育活動において地域から学校に支援できることは何だろうか」

○グループでの話し合いの方法について

- ①各学校で困っていることのうち、できそうなことと難しいことに分けて付箋を模造紙に張っていく。
- ②できそうなことを地域主体としてどのように支援していくかの具体策と課題を考え、それぞれ青の付箋と赤の付箋に書き出していく。
- ③書き出した付箋を、模造紙に貼り内容をもとにしてグループごとに話し合う。
- ④話し合った内容について各グループから発表する。

(3) 各グループの発表

ア 大穂中グループ

○具体策

※完璧を目指さず、少なくともよいから、まずは学校への支援活動に参加してもらえる体制を考える。

- ・ボランティア活動については、具体的な内容、時間を明確にする。
- ・回覧板で募集する。
- ・保険に加入することを必須とする。
- ・ボランティア募集の年間計画を立てるとよい。

○課題

- ・チラシ等で募集する場合、見やすく、読みやすいものを作成するノウハウが必要。
- ・専門の人に伺いながらやる必要がある。

イ 大曾根小グループ

○できること

※人が足りないからできないことをお手伝いする。

○できないこと

- ・日本語の指導の補助
- ・英語の通訳
- ・災害時の駐車場の整理

○具体策

- ・学生ボランティアを募る。
その際、マイスター制度のようなものを導入する。
具体的には、登録や研修をしてもらうようにする。
- ・PTA 活動に特典を付ける。
活動の何回か参加したらスポーツ少年団の PR をすることができる。
PTA の活動を免除する。
- ・学校と保護者が Win Win の関係であるように企画を考える。

○課題

- ・集めた人が情報漏洩をしてしまう危険性がある。

ウ 前野小グループ

○できること

※今実際にやっていることをさらに発展させていく

○できないこと

※学校の状況がわからず、突然言われてもすぐには動けないような内容のもの

- ・調理実習の補助
- ・手縫い、ミシン作業の補助
- ・水泳学習の見守り

○具体策

※広報活動をより活発にしていく

よりよい環境、よりよい教育を子供たちへ伝えていく

- ・区長さんの協力を仰ぐ
- ・地域の伝統行事を学校行事に取り入れる。（例：ポンポンつき）

エ 要小グループ

○できること・できないこと

- ・意見が上がった16項目について分けた。
- ・難しいことも多いが、工夫することでできることも増えていった。

○できること

- ・読み聞かせを行う。
- ・調理実習の補助
- ・ミシン作業の補助

○具体策

- ・やる気のある人からでもよいので、できることから少しずつ始めていく。

○課題

- ・やろうと思えばできるが、平日昼間の活動が多く、参加するのが難しい。
- ・団体としての読み聞かせグループがない。(PTA主催のもの)
- ・情報伝達の問題がある。困りごとなどをもと広く伝達するようにする。組織的に行う、もしくは、区長さんとの連携をもっと図れるようになるとうい。
- ・経費の問題。
事故があったときどうするか。
食費がかかった時の経費はどこから出すか。
市の制度を使えばよいのでは？

オ 吉沼小グループ

○できること

- ・登下校の立哨、パトロール
- ・水泳学習の低学年の支援
- ・休み時間、子供たちと、遊ぶ、触れ合いの時間をもつ。
- ・読み聞かせ
- ・草刈り
- ・畑での野菜作り、草取り
- ・落ち葉集め、桜、イチョウ等の落ち葉の管理
- ・プランターの花の管理、マリーゴールド、パンジー

○できないこと

- ・廃品回収での車の確保、地区ごとの軽トラの確保が難しくなっている。
- ・家庭科支援、調理実習や、ミシンの補助
- ・災害時の駐車場誘導、一部の道路を一方通行することなど。

○具体策

- ※コミュニティスクールの設置の目的である、地域、学校、子供たちを繋げるということで、学校を支援していきたい。ただし、学校がいつどのような時間にどんなことをしているかが伝わってこないため、どのようなお手伝いをすれば助かるということが伝わってこない現状がある。また発信されている情報が単発のものであることが

多く、情報が組織化されていない。そういった現状踏まえ、次のような策を講じていく。

- ・情報を共有する場、学校の課題を発信する場の設置のための人材バンクの設置。

人の登録、時間の登録、祖父母学級の管理

- ・メール配信システム（人材バンク専門のもの）の設置
- ・回覧板の活用
- ・登下校の見守り…いつ、どこで、どのような見守りをするか
- ・プランターの管理…花と緑のボランティアの日の設定（月1回程度）

○課題

※技術を持っている人が集まらないため。また、お仕事をされている方たちを招集するための時間の確保が必要になるため、限られた人しか集まらない、長い時間お手伝いいただくことが難しいということになる。さらに、道具も豊富にないと、活動が難しくなる。

- ・家庭科のミシン、調理実習の手伝い。

※地域の方にお手伝いをいただくためには、情報の共有が十分になされていないと、人が集まらないのではないかとということ。いつ、どんなところで、何をするかということ、困っているとか、学校の願いを、地域の方にどんどん発信していく、そういうことがやっぱり大事なのではないか。

(4) その他

ア 座長より

- ・たくさんの協力が得られることになった。子供たちの未来、国の未来が広がる気がする。今後はこの発表を実際に実現できるようによろしくお願いします。

イ 今後について

- ・第3回 令和6年1月26日（金）18:00～ 大穂交流センター

5 閉 会

令和5年度第2回大穂学園コミュニティースクール推進会議

日時：令和5年9月26日（火）

18:00～20:00

場所：大穂交流センター 研修室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議事の確認

4 協 議

(1) 『大穂学園の教育活動において地域から学校に支援できることは何だろうか』について

(2) その他

・コミュニティースクール推進会議の今後の予定について

5 閉 会

令和 5 年度 大穂学園コミュニティ・スクール推進会議・協議会
(第 2 回： 9 月 2 6 日 火曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	出欠席
1	(1) 児童・生徒の保護者	古谷野 好栄	こやの よしたか	大曾根小学校 ・R4PTA会長	出席 欠席
2	(1) 児童・生徒の保護者	大塚 貴文	おおつか たかふみ	前野小学校 ・R4、5PTA会長	出席 欠席
3	(1) 児童・生徒の保護者	渡邊 伸一	わたなべ しんいち	要小学校 ・R4PTA会長	出席 欠席
4	(1) 児童・生徒の保護者	柴田 淳子	しばた じゅんこ	吉沼小学校 ・PTA共同代表	出席 欠席
5	(1) 児童・生徒の保護者	五十嵐 京子	いがらし きょうこ	大穂中学校 ・大穂中応援団(PTA等代表)	出席 欠席
6	(1) 児童・生徒の保護者	須藤 梨沙	すとう りさ	吉沼小学校 ・子ども会育成連合会会長	出席 欠席
7	(2) 地域住民	井内 博行	いうち ひろゆき	大曾根小学校 ・R4学校評議員	出席 欠席
8	(2) 地域住民	諏訪 優子	すわ ゆうこ	大曾根小学校 ・R4学校評議員	出席 欠席
9	(2) 地域住民	染谷 強	そめや つよし	大曾根小学校 ・R4学校評議員	出席 欠席
10	(2) 地域住民	野澤 洋夫	のざわ ひろお	大曾根小学校 ・区長会長	出席 欠席
11	(2) 地域住民	中島 肇	なかじま はじめ	前野小学校 ・R4学校評議員、区長会長	出席 欠席
12	(2) 地域住民	清水 大	しみず まさる	前野小学校 ・R4PTA顧問 ・R6PTA会長候補	出席 欠席
13	(2) 地域住民	中川 正	なかがわ ただし	前野小学校 ・区長	出席 欠席
14	(2) 地域住民	大塚 一浩	おおつか かずひろ	前野小学校 ・R4学校評議員 ・区長	出席 欠席
15	(2) 地域住民	沖山 暁郎	おきやま あけお	要小学校 ・区長会長	出席 欠席
16	(2) 地域住民	小林 由二	こばやし ゆうじ	要小学校 ・民生委員	出席 欠席
17	(2) 地域住民	村上 義孝	むらかみ よしたか	要小学校 ・SSW・つくば市倫理法人会(相談役) ・つくばエデュース	出席 欠席
18	(2) 地域住民	菊田 康人	きくた やすと	要小学校 ・菊田建設 ・元保護者	出席 欠席
19	(2) 地域住民	川根 義行	かわね よしゆき	吉沼小学校 ・区長会長	出席 欠席
20	(2) 地域住民	塚本 正人	つかもと まさと	吉沼小学校 ・主任児童委員	出席 欠席
21	(2) 地域住民	中島 武夫	なかじま たけお	大穂中学校 ・元PTA会長、R4学校評議員	出席 欠席
22	(2) 地域住民	小野 泰宏	おの やすひろ	大穂中学校 ・前くすのき会長、R4学校評議員	出席 欠席
23	(2) 地域住民	軍司 絹子	くんじ きぬこ	大穂中学校 ・元PTA会長	出席 欠席
24	(3) 各学校長・教職員	勝村 和之	かつむら かずゆき	大曾根小学校 ・校長	出席 欠席
25	(3) 各学校長・教職員	村野 守司	むらの もりじ	前野小学校 ・校長	出席 欠席
26	(3) 各学校長・教職員	平野 浩之	ひらの ひろゆき	要小学校 ・校長	出席 欠席
27	(3) 各学校長・教職員	大越 茂	おおこし しげる	吉沼小学校 ・校長	出席 欠席
28	(3) 各学校長・教職員	富田 竜夫	とみた たつお	大穂中学校 ・校長	出席 欠席
29	(4) 学識経験者	藏持 正則	くらもち まさのり	大穂中学校 ・元校長	出席 欠席
	(5) 関係行政機関の職員				出席 欠席
	(6) 教育委員会が適当と認める者				出席 欠席

別紙 8



富田 竜夫	小野 泰宏	藏持 正則	勝村 和之	井内 博行	染谷 強
中島 武夫	五十嵐京子	軍司 絹子	古谷野好栄	諏訪 優子	野澤 洋夫



村野 守司	中島 肇	中川 正	
大塚 貴文	清水 大	大塚 一浩	

PC
プロジェ
クター



平野 浩之	沖山 暁郎	村上 義孝	大越 茂	塚本 正人	
渡邊 伸一	小林 由二	菊田 康人	川根 義行	柴田 淳子	須藤 梨沙



久保田
次長

澤頭
課長

吉沼
局長

副座長席

座長席

スク
リ
ー
ン

傍
聴
席

受
付

廊下

座長席

副座長席

【要小】

平野 浩之
沖山 暁郎
菊田 康人
小林 由二
村上 義孝
渡邊 伸一

【大穂中】

富田 竜夫
小野 泰宏
五十嵐京子
藏持 正則
軍司 絹子
中島 武夫

【前野小】

村野 守司
大塚 一浩
大塚 貴文
清水 大
中島 肇
中川 正

【吉沼小】

大越 茂
柴田 淳子
須藤 梨沙
川根 義行
塚本 正人

【大曾根小】

勝村 和之
井内 博行
古谷野好栄
諏訪 優子
染谷 強
野澤 洋夫

傍聴席

久保田
次長
吉沼局長

澤頭課長

入
口

受付

会 議 録

会議の名称		令和5年度第3回大穂学園コミュニティ・スクール（CS）推進会議		
開催日時		令和6年（2024年）1月26日（金）開会 18:00 閉会 20:00		
開催場所		大穂交流センター		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	古谷野 好栄、大塚 貴文、柴田 淳子、五十嵐 京子、 須藤 梨沙、諏訪 優子、野澤 洋夫、中島 肇、 村上 義孝、菊田 康人、川根 義行、塚本 正人、 中島 武夫、小野 泰宏、軍司 絹子 大穂中学校：富田 竜夫 校長 大曾根小学校：勝村 和之 校長 前野小学校：村野 守司 校長 要小学校：平野 浩之 校長 吉沼小学校：大越 茂 校長		
	その他	大穂中学校：鈴木 英理 教頭、伏谷 謙 教務主任 大曾根小学校：浅野 洋平 教頭、大和田 哲也 教務主任 前野小学校：飯塚 真由美 教頭、内田 卓 教務主任 要小学校：大谷 順子 教頭、柴崎 則史 教務主任 吉沼小学校：西村 香保子 教頭、木澤 智子 教務主任		
	事務局	教育局長 吉沼 正美 生涯学習推進課：課長補佐 色川 純子 ：係長 飯島 遊 ：社会教育主事 渡邊 亮太 ：地域連携教育指導員 酒井 和宏 ：地域連携教育指導員 小島 健		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0名
非公開の場合はその理由				
議題		1 大穂学園の学校評価について 2 熟議「大穂学園コミュニティ・スクールを地域に広げるためにどのようなことをしたらよ いだろうか。」 3 その他（推進会議の今後の予定）		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会 議 次 第	1 開 会 2 学園長のあいさつ 3 座長あいさつ、議事の確認 4 大穂学園の学校評価について 5 第2回会議の振り返り 6 熟議「大穂学園コミュニティ・スクールを地域に広げるためにどのようなことをしたらよ いだろうか。」 7 閉 会			

<審議内容>

- 1 大穂学園の学校評価について
前野小 飯塚教頭より第1回学校評価についての説明
 - 取り上げた8項目について紹介
 - ・どの項目も児童のほうで肯定的に捉えている。
 - 学校評価について、意見交換
 - ・3つのテーマでの話し合い（10分程度）
 - ・グループごとに出てきた意見をワークシートに記入
 - ・後ほどワークシートは回収

- 2 第2回の会議内容の振り返り（ファシリテーター 大穂中 鈴木教頭）
 - (1) 第2回の会議内容の振り返り
 - できること
 - ・学校への支援活動に参加してもらえる体制づくり
 - ・ボランティア活動の募集、年間計画、回覧板での募集（活動の際は、保険に加入すること）
 - ・人が足りないことからお手伝いする。
 - ・今、実際にやっていることを発展させる。
 - ・登下校の立哨、パトロール ・低学年の水泳学習の支援
 - ・休み時間、子どもたちと学ぶ、触れ合いの時間をもつ
 - ・読み聞かせ ・畑で野菜作り、草取り
 - ・落ち葉集め、桜、イチヨウ等の落ち葉の管理
 - ・プランターの花の管理（マリーゴールド、パンジーなど）
 - ・調理実習やミシン作業の補助
 - 具体策
 - ・広報活動をより活発にしていく ・区長さんの協力を仰ぐ
 - ・地域の伝統行事を学校行事に取り入れる。
 - ・できることからすこしずつ始める。
 - ・地域・学校・子供たちを繋げるということで、学校を支援していく。
 - ・情報共有の場 ・人材バンクの設置
 - ・メール配信システム ・登校時の見守り
 - 課題として
 - ・見やすく、読みやすいチラシ等を作成するノウハウが必要
 - ・活動している人の情報の取り扱い（情報漏洩等）
 - ・平日の昼間の活動に参加するのが困難
 - ・団体としての読み聞かせグループがない。
 - ・情報伝達、情報の共有が十分にされていないと人が集まらない。
 - ・経費の問題（事故があった時、食費の経費など）
 - ・人を集めること（技術をもっている人、長い時間お手伝いできる人
 - ・学校のねがいを地域の方に発信していく。

- 3 熟議
 - (1) テーマについての説明
「大穂学園コミュニティ・スクールを地域に広げるためにどのようなことをしたらよいか。」

(2) 話し合いについて

- ・学校グループごとに15分間を目安に話し合いを行う。
- ・推進委員さんが考えた意見を付箋に書き、その付箋をラシヤ紙に貼りながら話し合いを進める。
- ・3つのテーマの話し合いが終了した後、学校ごとに2分程度で発表を行う。(前野小→大曾根小→吉沼小→要小→大穂中の順番)

- ①テーマ1：『大穂学園コミュニティ・スクールを地域に広げるために行ったらよいこと』
- ②テーマ2：『大穂学園コミュニティ・スクールのスローガンは、どのようなものがよいだろうか。』
- ③テーマ3：『大穂学園コミュニティ・スクールとして、地域と学校で、まず実行することを考える。(挨拶・立哨について)』

(3) 各グループの発表

ア 前野小グループ

①テーマ1について

※地域との連携、情報共有が足りないという課題がある

- ・学校と地域と親がつながるため、学校に呼べるイベントを行う(防災学習会(防災キャンプ)など)

②テーマ2について

- ・地域で支える子供の笑顔
- ・スローガンの右下に「大穂学園コミュニティ・スクール」を入れる

③テーマ3について

※子供たちから地域、学校にお願いするような流れをつくる

- ・あいさつ運動、交通安全の見守り等、地域のみなさんに参加してもらいたいことについては、子どもたちがポスターを作成して、地域のみなさんに参加していただけるようすすめる。ごみの集積場等に貼る。
- ・交通安全ステッカーを貼る
- ・ポスターに学校HPにリンクしたQRコードを張り付けておく。

イ 大曾根小グループ

①テーマ1について

※危機意識を高めていく

- ・地域防災訓練を行う。

②テーマ2について

- ・まずやってみよう

③テーマ3について

※意識の高い人から集まってもらって、防災訓練に集まってもらい、その後、CSに広げていく流れをつくる

- ・炊き出しを行う。
- ・段ボールをもってきてパーソナルスペースの小ささを感じてもらう
- ・夏、冬がいいと思うが、暑さ対策や感染症対策が必要となるため、時期については検討が必要である。

ウ 吉沼小グループ

①テーマ1について

- ・情報誌を発行する。
市の広報紙の活用、チラシ等の活用をする。
予算を十分確保していただくことと、学校に負担がかからないようにするため、市教育委員会で担当していただきたい
- ・登り旗の作成
- ・地区長からの Line を使って情報共有、情報発信を行う。
- ・CS の説明が聞ける場所の提供、懇談会で情報発信を行う。
- ・イベントの工夫、その中で CS の運動について情報発信を行う。

②テーマ2について

- ・地域がはぐくむ明るい未来
子供を中心に学校・家庭・地域が繋がろう
地域の力を学校に
- ・支えあおう、よりよい地域と子供のために、ともに始めよう歩もう
- ・地域で育てる学びの場、大穂学園コミュニティ・スクール
未来を育む、共に学び、笑顔のコミュニティ・スクール
深まろう 学園の輪コミュニティ・スクール
地域で支え育てるコミュニティ・スクール

③テーマ3について

- ・学期一回のあいさつ運動（正門前）
- ・登下校の見守り、登校中は可能
下校時は散歩をしている人や、日常の支援活動の相乗りで行う。

エ 要小グループ

①テーマ1について

- ・区長会のつながりが強いので、地区向けの広報がよい。
- ・学校に来て子供もの様子を見る機会をつくる、イベントなど
- ・食べ物を絡めたもの、野菜をつくる、
- ・要フェスティバルの復活（有志で実行委員会を行う）

②テーマ2について

- ・みんなでほめて、みんなで育てよう、となりの親戚

③テーマ3について

- ・見守りとあいさつを兼ねて進める
- ・登校班の編成をする時に、いつ、どこに集合するかを、各区会にも連絡し、登校班の編成と一緒に参加する。情報共有することで、子供たちが通学する場所が分かる。
- ・下校時の見守りについては、防災無線（あれば）を活用し、子供たちの下校をお知らせする。
- ・下校時刻を告知する。

オ 大穂中グループ

①テーマ1について

- ・チラシを作る、登り旗をつくる、
- ・学校HP、広報紙の活用
- ・ポスター、HPは見逃ししやすい、チラシも捨てられてしまう
→目を引くものをつくる、専門家に任せる。
- ・CS がなじんでないので、広報活動をすすめる。

②テーマ2について

- ・地域の宝、子供たちのいる学校を地域の宝にしよう
- ・育てよう地域の宝 よりよい未来を目指し

③テーマ3について

- ・あいさつ運動は年1回だれでも参加する。
- ・祖父母に協力を求める。
- ・地域の方のあいさつ運動と一緒に活動させてもらう。

(4) その他

ア 座長より

- ・大変貴重な意見を来年からのコミュニティ・スクールに生かしていきたいと思います。

イ 今後について

- ・3月2日CS推進委員さん向けの研修（希望制）があります。2月14日までに連絡をお願いいたします。
- ・令和6年度は、正式にコミュニティ・スクールとなります。期日、会場等は、後日連絡いたします。
- ・委員の選出に関しては、1年ごとの任期となります。

4 閉 会

令和5年度第3回大穂学園コミュニティ・スクール推進会議

日時：令和6年1月26日（金）

18:00～20:00

場所：大穂交流センター 研修室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議事の確認

4 協 議

(1) 『大穂学園コミュニティ・スクールを

地域に広げるためにどのようなことをしたらよいだろうか』

(2) その他

5 閉 会

令和 5年度 大穂学園コミュニティ・スクール推進会議・協議会
(第 3回: 1月26日 金曜日)

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職
1	(1) 児童・生徒の保護者	古谷野 好栄	こやの よしたか	大曾根小学校 ・R4PTA会長
2	(1) 児童・生徒の保護者	大塚 貴文	おおつか たかふみ	前野小学校 ・R4、5PTA会長
3	(1) 児童・生徒の保護者	渡邊 伸一	わたなべ しんいち	栗小学校 ・R4PTA会長
4	(1) 児童・生徒の保護者	柴田 淳子	しばた じゅんこ	吉沼小学校 ・PTA共同代表
5	(1) 児童・生徒の保護者	五十嵐 京子	いがらし きょうこ	大穂中学校 ・大穂中応援団(PTA等代表)
6	(1) 児童・生徒の保護者	須藤 梨沙	すとう りさ	吉沼小学校 ・子ども会育成連合会会長
7	(2) 地域住民	井内 博行	いうち ひろゆき	大曾根小学校 ・R4学校評議員
8	(2) 地域住民	諏訪 優子	すわ ゆうこ	大曾根小学校 ・R4学校評議員
9	(2) 地域住民	染谷 強	そめや つよし	大曾根小学校 ・R4学校評議員
10	(2) 地域住民	野澤 洋夫	のざわ ひろお	大曾根小学校 ・区長会長
11	(2) 地域住民	中島 肇	なかじま はじめ	前野小学校 ・R4学校評議員、区長会長
12	(2) 地域住民	清水 大	しみず まさる	前野小学校 ・R4PTA顧問 ・R6PTA会長候補
13	(2) 地域住民	中川 正	なかかわ ただし	前野小学校 ・区長
14	(2) 地域住民	大塚 一浩	おおつか かずひろ	前野小学校 ・R4学校評議員 ・区長
15	(2) 地域住民	沖山 暁郎	おきやま あけお	栗小学校 ・R4区長会長
16	(2) 地域住民	小林 由二	こばやし ゆうじ	栗小学校 ・民生委員
17	(2) 地域住民	村上 義孝	むらかみ よしたか	栗小学校 ・SSW・つくば市倫理法人会(相談役) ・つくばエフェース
18	(2) 地域住民	菊田 康人	きくた やすと	栗小学校 ・菊田建設 ・元保護者
19	(2) 地域住民	川根 義行	かわね よしゆき	吉沼小学校 ・区長会長
20	(2) 地域住民	塚本 正人	つかもと まさと	吉沼小学校 ・主任児童委員
21	(2) 地域住民	中島 武夫	なかじま たけお	大穂中学校 ・元PTA会長、R4学校評議員
22	(2) 地域住民	小野 泰宏	おの やすひろ	大穂中学校 ・前くすのき会長、R4学校評議員
23	(2) 地域住民	軍司 絹子	くんじ きぬこ	大穂中学校 ・元PTA会長
24	(3) 各学校長・教職員	勝村 和之	かつむら かずゆき	大曾根小学校 ・校長
25	(3) 各学校長・教職員	村野 守司	むらの もりじ	前野小学校 ・校長
26	(3) 各学校長・教職員	平野 浩之	ひらの ひろゆき	栗小学校 ・校長
27	(3) 各学校長・教職員	大越 茂	おおこし しげる	吉沼小学校 ・校長
28	(3) 各学校長・教職員	富田 竜夫	とみた たつお	大穂中学校 ・校長
29	(4) 学識経験者	藏持 正則	くらもち まさのり	大穂中学校 ・元校長
	(5) 関係行政機関の職員			
	(6) 教育委員会が適当と認める者			

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回大穂学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時	令和5年(2023年)9月26日 開会 18:00 閉会 20:00		
開催場所	大穂交流センター		
事務局(担当課)	教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	古谷野 好栄、大塚 貴文、渡邊 伸一、柴田 淳子、五十嵐 京子、須藤 梨沙、井内 博行、諏訪 優子、染谷 強、野澤 洋夫、中島 肇、中川 正、大塚 一浩、小林 由二、村上 義孝、菊田 康人、塚本 正人、中島 武夫、小野 泰宏、軍司 絹子 藏持 正則 大穂中学校：富田 竜夫校長 大曾根小学校：勝村 和之校長 前野小学校：村野 守司校長 要小学校：平野 浩之校長 吉沼小学校：大越 茂校長	
	その他	大穂中学校：鈴木 英理 教頭、伏谷 謙 教務主任 大曾根小学校：浅野 洋平 教頭、大和田 哲也 教務主任 前野小学校：飯塚 真由美 教頭、内田 卓 教務主任 要小学校：大谷 順子 教頭、柴崎 則史 教務主任 吉沼小学校：西村 香保子 教頭、木澤 智子 教務主任	
	事務局	教育局長 吉沼 正美 教育局次長 久保田 靖彦 学び推進課：参事 久松 和則 教育総務課：課長 山岡 めぐみ 生涯学習推進課：課長 澤頭 由紀子 ：社会教育主事 渡邊 亮太 ：社会教育主事 村上 和宏 ：地域連携教育指導員 酒井 和宏 ：地域連携教育指導員 小島 健	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開
傍聴者数	2名		
非公開の場合はその理由			
議題	1 大穂学園の現状について 2 熟議「大穂学園の教育活動において地域から学校に支援できることは何だろうか」 3 その他(推進会議の今後の予定)		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会次第	1 開 会 2 学園長のあいさつ 3 座長・副座長の選出 4 熟議「大穂学園の教育活動において地域から学校に支援できることは何だろうか」 5 閉 会		

<審議内容>

1 開会

(1) 本日の会議について (2) 学園長のあいさつ

2 座長・副座長について

前回より引き続き

座長：大穂中学校元 PTA 会長、前大穂中学校評議員 中島 武夫 委員

副座長：くすのき会前会長、前大穂中学校評議員 小野 泰宏 委員

3 議事の確認

(1) 書記の選任 (要小 柴崎則史教務主任)

4 熟議

(1) 第1回の会議内容の振り返り (ファシリテーター 大穂中 鈴木教頭)

○良いところ

- ・縦割り班活動や地域、他学年とのつながりがある。
- ・保護者が協力的 ・子どもたちが認められる機会が多い
- ・多種・多様な業種が周りがある ・挨拶ができる
- ・本気で行動できる ・学校が落ち着いている

○課題として

- ・あいさつ ・人間関係作り ・遊び場が少ない ・学力向上
- ・マナーの向上 ・世代交流が少ない、地域の活動が分からない
- ・地域との関わり・働き方改革
- ・道が狭く、安全面が課題である
- ・自転車のルールを守る意識の向上を図る必要がある
- ・夢、目標を持つ等の意識の向上

○今後、行っていきたいこと

- ・児童館との連携 ・ボランティア活動 ・継続すること
- ・学校、地域双方からの広報活動
- ・子どもの居場所づくり (サードステージ)
- ・地域行事への理解促進と、児童と協働したイベントの開催
- ・子どもたちを知ってもらうための活動
- ・地域と協力、くすのき隊の活動の充実
- ・ボランティア活動の充実 ・体験活動の充実
- ・先生の手助けになるような地域活動の展開

(2) テーマについての話し合い

「大穂学園の教育活動において地域から学校に支援できることは何だろうか」

○グループでの話し合いの方法について

- ①各学校で困っていることのうち、できそうなことと難しいことに分けて付箋を模造紙に張っていく。
- ②できそうなことを地域主体としてどのように支援していくかの具体策と課題を考え、それぞれ青の付箋と赤の付箋に書き出していく。
- ③書き出した付箋を、模造紙に貼り内容をもとにしてグループごとに話し合う。
- ④話し合った内容について各グループから発表する。

(3) 各グループの発表

ア 大穂中グループ

○具体策

※完璧を目指さず、少なくともよいから、まずは学校への支援活動に参加してもらえる体制を考える。

- ・ボランティア活動については、具体的な内容、時間を明確にする。
- ・回覧板で募集する。
- ・保険に加入することを必須とする。
- ・ボランティア募集の年間計画を立てるとよい。

○課題

- ・チラシ等で募集する場合、見やすく、読みやすいものを作成するノウハウが必要。
- ・専門の人に伺いながらやる必要がある。

イ 大曾根小グループ

○できること

※人が足りないからできないことをお手伝いする。

○できないこと

- ・日本語の指導の補助
- ・英語の通訳
- ・災害時の駐車場の整理

○具体策

- ・学生ボランティアを募る。
その際、マイスター制度のようなものを導入する。
具体的には、登録や研修をしてもらうようにする。
- ・PTA 活動に特典を付ける。
活動の何回か参加したらスポーツ少年団の PR をすることができる。
PTA の活動を免除する。
- ・学校と保護者が Win Win の関係であるように企画を考える。

○課題

- ・集めた人が情報漏洩をしてしまう危険性がある。

ウ 前野小グループ

○できること

※今実際にやっていることをさらに発展させていく

○できないこと

※学校の状況がわからず、突然言われてもすぐには動けないような内容のもの

- ・調理実習の補助
- ・手縫い、ミシン作業の補助
- ・水泳学習の見守り

○具体策

※広報活動をより活発にしていく

- よりよい環境、よりよい教育を子供たちへ伝えていく
- ・区長さんの協力を仰ぐ
- ・地域の伝統行事を学校行事に取り入れる。(例：ポンポンつき)

エ 要小グループ

○できること・できないこと

- ・意見が上がった16項目について分けた。
- ・難しいことも多いが、工夫することでできることも増えていった。

○できること

- ・読み聞かせを行う。
- ・調理実習の補助
- ・ミシン作業の補助

○具体策

- ・やる気のある人からでもよいので、できることから少しずつ始めていく。

○課題

- ・やろうと思えばできるが、平日昼間の活動が多く、参加するのが難しい。
- ・団体としての読み聞かせグループがない。(PTA主催のもの)
- ・情報伝達の問題がある。困りごとなどをもと広く伝達するようにする。組織的に行う、もしくは、区長さんとの連携をもっと図れるようになるとうい。
- ・経費の問題。
事故があったときどうするか。
食費がかかった時の経費はどこから出すか。
市の制度を使えばよいのでは？

オ 吉沼小グループ

○できること

- ・登下校の立哨、パトロール
- ・水泳学習の低学年の支援
- ・休み時間、子供たちと、遊ぶ、触れ合いの時間をもつ。
- ・読み聞かせ
- ・草刈り
- ・畑での野菜作り、草取り
- ・落ち葉集め、桜、イチョウ等の落ち葉の管理
- ・プランターの花の管理、マリーゴールド、パンジー

○できないこと

- ・廃品回収での車の確保、地区ごとの軽トラの確保が難しくなっている。
- ・家庭科支援、調理実習や、ミシンの補助
- ・災害時の駐車場誘導、一部の道路を一方通行することなど。

○具体策

- ※コミュニティスクールの設置の目的である、地域、学校、子供たちを繋げるということで、学校を支援していきたい。ただし、学校がいつどのような時間にどんなことをしているかが伝わってこないため、どのようなお手伝いをすれば助かるということが伝わってこない現状がある。また発信されている情報が単発のものであることが

多く、情報が組織化されていない。そういった現状踏まえ、次のような策を講じていく。

- ・情報を共有する場、学校の課題を発信する場の設置のための人材バンクの設置。

人の登録、時間の登録、祖父母学級の管理

- ・メール配信システム（人材バンク専門のもの）の設置
- ・回覧板の活用
- ・登下校の見守り…いつ、どこで、どのような見守りをするか
- ・プリンターの管理…花と緑のボランティアの日の設定（月1回程度）

○課題

※技術を持っている人が集まらないため。また、お仕事をされている方たちを招集するための時間の確保が必要になるため、限られた人しか集まらない、長い時間お手伝いいただくことが難しいということになる。さらに、道具も豊富にないと、活動が難しくなる。

- ・家庭科のミシン、調理実習の手伝い。

※地域の方にお手伝いをいただくためには、情報の共有が十分になされてないと、人が集まらないのではないかとということ。いつ、どんなところで、何をするかということ、困っていると、学校の願いを、地域の方にどんどん発信していく、そういうことがやっぱり大事なのではないか。

(4) その他

ア 座長より

- ・たくさんの協力が得られることになった。子供たちの未来、国の未来が広がる気がする。今後はこの発表を実際に実現できるようによろしくお願いします。

イ 今後について

- ・第3回 令和6年1月26日（金）18:00～ 大穂交流センター

5 閉 会